



ゴードンR.マッキナリー会長

酒井法丈ガバナー

山本雅久会長

RIテーマ

地区方針

クラブ方針

CREATE HOPE in the WORLD
 世界に希望を生み出そう

培おうプライド、育もうブランド、
 そして未来へ!!

輝こう! 豊橋ゴールデンロータリークラブ
 ~我がクラブの志と共に~

第24回(通算1638回)例会報告

令和6年1月19日(金)

職業奉仕担当例会

出席報告

総会員数58名(計算会員数51名)欠席10名出席率80.39%前々回修正出席率82.98%

歌/会場

我らの生業

会場:ロワジールホテル豊橋 30F「ル・モン」12:30~

会長の時間

山本雅久会長



皆さんこんにちは今日は職業奉仕の例会を行います、鈴木愛委員長宜しくお願いいたします。職業奉仕委員会の皆様にはご奉仕をお掛けしております。感謝いたします。新会員の入会式を執り行います、サーラグループの保険担当の社長さんで

前任者の石川洋会員の後任の山下孝さんが入会して58名となり、今年度は3人目の入会となり皆様のご協力により会員増強となり嬉しく思います。あと5ヶ月間会員増強にご協力賜りますようお願い申し上げます。好きなことは野球、ゴルフなど運動が好きようです。どうぞよろしくお願いたします。

先日創立35周年プロジェクト委員会のホームページ担当杉田委員長はじめ多くのロータリアンが準備にはっています。ご協力感謝いたします。ありがとうございます。お世話になります。

米山功労者

第2回米山功労者
牧 岳大会員

入会式

推薦者 大須賀憲太会員



山下孝新会員を紹介します。1965年生まれの58歳、家族は奥さんと娘さんの3人ですが現在は豊橋に単身赴任中です。市内前田南町に住まわっていて私の事務所のそばです。学歴は慶応志木高校から慶応大学経済学部に進学されております。その後、三井信託銀行株式会社(現三井住友信託銀行)に就職されました。令和2年にサーラフィナンシャルサービス株式会社に入社され翌令和3年に代表取締役社長に就任されています。元我がクラブメンバーの石川洋さんの後任です。

趣味としては、特に野球がお得意で、スポーツマンです。

新会員 山下 孝会員



みなさん、こんにちは。サーラフィナンシャルサービス社長の山下です簡単に自己紹介をさせていただきます。

ご紹介者の大須賀さんより案内の合った通り、昭和40年東京板橋で生まれ、育ちも東京になります。

小学3年から野球をはじめ、リトルリーグに入っていました。高校から慶應大学の付属高校であります、慶應志木高校に入学し、大学も慶應義塾大学の卒業になります。

大学では当初体育会の野球部に入部しましたがいろいろとあって退部し、大学2年から3年間母校の慶應志木高校の野球部の監督を行っていました。

ロータリー財団寄付認証

第3回マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
西郷隆治会員ポール・ハリス・フェロー
青山泰三会員、今川明彦会員、飯野益通会員



いわゆる高校野球の監督です。

なお、昨年夏に慶應義塾高校が夏の甲子園で日本一になりましたが、兄弟校になりますので多くの方からおめでとう！と言われましたものの、複雑な気持ちで、半分うれしく、半分寂しい気分です。

母校の慶應志木ははまだ甲子園出場はないのでいつか甲子園に出てくれることを期待しています。

高校野球の監督の経験は人生の中で一番貴重な経験でした。

また、大谷翔平選手が大リーグで二刀流で活躍していますが、すごいことです。

高校野球ではエースで4番は当たり前のようにいます。自分も少し自慢になりますが、慶應志木ではエースで4番そしてキャプテンでした。

それだけ強くない高校でした。

さて、大学卒業後は三井信託銀行に入社して、個人・法人の営業のほか、さまざまな業務を経験しました。

現在の三井住友信託銀行ですが、前社長の石川洋さんも三井信託出身ですし、サーラの代表の神野社長も三井信託出身です。

石川洋さんとは大阪勤務時代に隣で仕事をしていた関係でお誘いを受けて、4年前にサーラフィナンシャルサービスに入社した次第です。

趣味は野球といっても野球は仕事みたいなものです。ただ身体が動かなくなっていますので野球は年数回しかプレーしません。

その代わりゴルフを趣味としています。可能な限りお付き合い出来ればと思っています。

これからどうぞよろしく願いいたします。



誕生日祝い

お誕生日おめでとうございます！



廣瀨成一会員

鈴木紳昭会員

ロータリーの友読みどころ



村松 光雑誌委員長

縦組 5 頁「RI 会長メッセージ」ロータリーが暗闇を照らす光となると題し、平和の実現を望むロータリー会員は、故郷や国を失った人たちへの支援、医療支援などのプロジェクト

に、他のロータリー会員と共に取り組むため、地区補助金やグローバル補助金を多いに活用し活動することで、この暗黒の日々から抜け出すための道を照らす一助になると締めくくられております。次年度国際奉仕委員長として一つのアイデアをいただきました。7 頁「難しいと思いませんか？職業奉仕」と題し特集が組まれております。奉仕に学び、職業で奉仕するにつきます。常に四つのテストを道しるべとし誠実に自分の仕事を全うすることにつききと解り易くまとめられています。36 頁「ROTARY AT WORK」にて子供たちを交通事故から守れ！と題し、近隣の豊川宝飯 RC の事業が紹介されております。横組 4 頁「SPEECH」にて私にとっての四つのテストと題し、元ロータリアンであるハードオフ会長の山本氏による記事が記載されております。倒産寸前時に四つのテストから自社の四つの経営理念を明確にし、大逆転を収めたサクセスストーリーになっております。最後に横組 15 頁「俳壇」にて豊橋北 RC の直前会長であります岡本氏の歌が掲載されております。『蝉しぐれ昨日よりなお遠ざかり』

会員スピーチ

「私が今まで育んできたこと」
「私が現在育んでいること」
「私がこれから育んでいきたいこと」

廣瀨成一会員



会員スピーチ「育む」について、担当となりましたのでスピーチさせていただきます。あまり面白みのない話ですから、どうぞ目をとじて聞き流してください。

私が育んでいることと言えば、家族との時間を最優先にした生活リズムです。

ロータリークラブは 16 年目となりますが、入会時のクリスマス会に現在 17 歳の娘は 1 歳になる前の離乳食で参加して、以後もずっと父親を嫌いにならずについてきてくれています。

今後も嫌われるまでは一緒に家族で参加していきたいと思っております。

長女は現在 21 歳、特に牧野会員や富田会員には、保育園の時から本宮山登山を一緒にさせていただいたり、食事に連れて行っていただき、今でも、牧野のおじちゃん・富田のおじちゃんはクリスマス会に来るの？って聞いてきます。私と一緒にいきたいのではなく、牧野のおじちゃんと、富田のおじちゃんに会いたいから、クリスマス会に出席したいと最近わかりました。

そんな長女も昨年オーストラリアにワーキングホリデーから帰国し、来年にはオランダに行くなんて、また父親から巣立っていく、父親から距離をとっていくようです。そんな長女が大好きです。



次女はというと、高校2年生で世間で言う「JK」ど真ん中、特に私にはなついているようで「草」とか「うざ」という愛情ある声掛けをしてくれております。

週末は美容にまつわる Youtube ばかり見ている、飽きずに見られている事は「美容の才能あり」と、親バカ全開の、前向きな解釈で本音を隠して、嫌われないように言葉を選んでいきます。

美容関係の仕事をしたという事なので、今年あたりは何か「クチグルマ」にのせ、娘と二人で美容の本場、韓国二人旅へ連れ出す計画が、「好かれるための作戦」でもあります。

きっと娘は、私の事を大好きになると思います。

最後に妻との時間を「育む」となりますが、フェイスブックでは都度都度、妻との旅行の日記を書いており、会員の皆様からも多くの「いいね」を押していただいております。ありがとうございます。

フェイスブックのとおり、ほぼ毎週のように日本全国へ旅をしております。

これは、富田会員からのお言葉「60代70代にもなると、身体の無理もきかなくなる」という助言がきっかけで、好奇心と身体がまだ元気なうちに、妻と色々な景色をみて地産地消を楽しみ季節に咲く花々の写真を撮ることも目的とした旅でもあります。

大病をさかいに、この妻との旅も12年目となり日本全国の花の名所を周ろうと企画をしております。

このような家族との時間を最優先する価値観は、古くからの会員様はご存じの通り、私の持病である、血液の病気により、12年前に生死を彷徨う大病をわずらい、半年ほど休暇をいただいた体験からの変化です。

仕事よりも家族との時間を過ごしたいという「死にかけて得た教訓」が、今の私であります。

家族と過ごす時間を最優先できるのも、健康である事、その為に実施している事は体重の変動を抑える食生活を意識している。という事です。

13年前はちょうど金子会員とおなじような体型をしており、当時は85キロありました。

毎日14時間以上のファスティングによって、現在は72キロ前後。

毎日体脂肪計と血圧計でグラフ管理をしております、中肉中背を保ちながら、大病後の12年間の体重は1キロも変わっていません。

家族との時間を「育み」最優先する。という生活習慣をしていこうと思います。

最後は妻とのノロケ話になってしまい申し訳ございません。

以上でスピーチを終わります。ご清聴ありがとうございました



村松 光会員

前回のスピーチ同様に、以前、東愛知新聞で「東三河から未来を語る」というテーマで掲載いただいたものをご紹介します。

開催直前まで物議のあった東京オリンピック。いざ開幕するとアスリーターの皆さんから毎日、夢と希望、そして感動を感じさせて

もらった。感謝している。

子供の頃に描いた夢はプロ野球選手。現実には高校時代に、何となく東京の大学に憧れ進学した。そして何となく海外に憧れ留学。具体的に目指すものもなく、漠然と世界で活躍したいという若さゆえの大きくもあり滑稽な空想を描いたものだ。豊橋は無論、日本に帰ってくることは無いであろうと生意気に息巻いていた。そんな浅はかな夢は当然成就する筈もなく、想いを打ちのめされ帰国。夢や希望、そして感動とはかけ離れた真逆とも言えるストーリーとなった。

そして電機メーカーへ就職し、数年後、諸般の事情があり、稼業である現職に就いた。そんな嘆かわしい自分を大きく動かしてくれたのが、豊橋青年会議所の存在であった。明るい豊かな社会の実現の創造を目指し、気の知れた仲間たちと真剣に語り、取り組み、活動した。心に描いた夢や希望、そして感動とはかけ離れかけていた自分の生き方を大きく軌道修正してくれた。感謝しかない。

現在では、地元（東三河・豊橋）を愛し、青年経済人として地域経済にかかわり、すべての出会いに感謝を持って事業を営んでいる。

稼業は、IT関連業である。時代に乗った業種と聞こえは良いが、そう甘くはない業態である。常日頃、急速に進むデジタル化の影響は大きく、人と人の繋がりが希薄化する中で、納得と矛盾を感じ仕事をしている。今の私は、事業としてのデジタル化と、人として決して忘れてはならないアナログとの融合こそが自身の持っている「夢や希望」の源となっていると強く感じている。

今後も、デジタル化は効率性、利便性、生産性の向上には無くてはならない要素であることは言うまでもないが、それを利用する「人」が問題となってくる。利他の精神を忘れ、モラルやマナーを軽視し、間違った活用をすることから危険性を高めることが多々ある。

今一度、オリンピックに参加した海外選手が褒めたたえた日本人気質の一つの「礼節・謙譲の精神」を再確認し、与えられたツールを正しく有効活用することが目指すべき「デジタル、アナログの融合」であると考えている。

地域コミュニティが高く、仲間意識の高い東三河こそ、誤った方向に行きつつあるこの世のデジタル利用に対し、一刀を投じることができる最適な地域であると日々真剣に思っている。

東三河から世界へ。未来の夢、希望そして感動を与えられる事業を展開し、次世代がそれを描ける最良の環境を作りあげることこそが、私であり、私たちの責務だと考える。「ARIGATO」

職業奉仕担当例会

鈴木 愛 職業奉仕委員長



■本日の流れ

- ①佐藤千壽様 著書から「職業奉仕」のおさらい
- ②私が考える職業奉仕
- ③職業奉仕に関するご回答・フォーラムに向けて

■引用・参考文献

佐藤千壽様著書3編
『やさしいロータリーの話』



『職業奉仕私観測』

『黄金の十字架・茨の冠—個人の規範と集団の規範の乖離』

①佐藤千壽様 著書から「職業奉仕」のおさらい

■ロータリークラブ発足当時の時代背景

1905年当時のシカゴは惨憺たる暗黒世界。金儲けのためなら人殺しだって朝飯前。不法侵入、不払い、計画倒産、取り込み詐欺、夜逃げ。無秩序な腐敗した実業社会を規制する商業会議所のような組織もない。「自衛第一」が、当時のシカゴに生活する者の一番大事な心構えだった。取引で相手を騙すのは当たり前、騙される方が悪い、という道徳観が公然とまかり通っていた。

■ロータリークラブの創設

1905年ポールハリスら9名によって創設。創設メンバーの9つの職業は、弁護士・鋳山技師・石炭商・洋服屋・洗濯屋・印刷屋・オルガン製造・不動産業・保険業。アメリカのフロンティアにおいてどれも欠かせない職業。「友人として信頼して取引できる仲間」を誰よりも切実に求めているこの仲間は、互いに相手を必要としていた。

■初期ロータリークラブの目的

1906年1月に定款・細則を定め、次のようにクラブの目的をはっきり掲げ、仕事上の相互扶助と懇親という目的が公然化された。シカゴという悪徳市場にあっては当然の自衛手段。

儲けるために手段を選ばないという市場原理に対し、**相手の利益を考えることによって自分も儲けさせてもらう**という新しい原理が芽生えてきた。

※クラブに統計委員が設けられ、会員同士の取引状況が具体的に記録され、これを毎例会に報告。この制度は1912年まで継続。

定款ができた年、ドナルド・カーターに入会を勧めたところ、「会員同士だけの互助にとどまっている限り社会的存在意義がない」と言って断った。この報告を受けたポール・ハリスは、第三条「シカゴ市の利益を増進し、市民の中に市に対する誇りと忠誠心を普及すること」を追加。

①会員の業務上の利益を振興すること

②社交クラブに伴う親睦その他望ましい事項を振興すること

③シカゴ市の利益を増進し市民の中に市に対する誇りと忠誠心を普及すること

■現ロータリークラブの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。

具体的には、次の各項を奨励することにある。

第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること

第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。

第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。

第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

■奉仕の理念 確立

1911年、シェルドンは「経営の科学とは奉仕の科学である。すなわち、最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」と説いた。この時からロータリークラブははじめて、他の社交クラブ・親睦団体と明らかに違う「**奉仕する職業人のクラブ**」となった。

ロータリーとは職業人の集まり。そしてロータリーにとって最大の関心事は、その会員である職業人が、自分の職業に取り組むに当たってどういう心構えをもって臨み、実際にどういう行動様式を取るのか、ということである。これこそロータリーの根幹である。

■相対比される二つの標語

『超我の奉仕』

(Service Above Self)

『最もよく奉仕する者、最も多く報いられる』

(One Profits Most Who Serves Best)

■標語作者・職業の差異

『超我の奉仕』

弁護士 (フランク・コリンズ)

『最もよく奉仕する者、最も多く報いられる』

経営学を学んだセールスマン (アーサー・シェルドン)

この2つは切り口が違うように感じるが、作者の職業の違いがわかると納得がいくのでは。人間の思想が環境と職業の制約から免れないことを意味している。どちらにも共通することは【**相手の立場になって行動する**】こと。

■四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1 真実かどうか

2 みんなに公平か

3 好意と友情を深めるか

4 みんなのためになるかどうか

一言で言えば【**相手の立場になって行動する**】こと。

四つのテストは、職場や生活のあらゆる場面で倫理的行動を実践するための指針。「超我の奉仕」や「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」を、具体的行動指針として置き換えたもの。

4つで1セットである。つまり4つの内3つ出来れば良いのではなく、4つ全てクリアしなければならない。



■ロータリーの樹

根っこに、『超我の奉仕』『最もよく奉仕する者、最も多く報いられる』『四つのテスト』『クラブ奉仕』がある。

【職業奉仕】は幹であり、奉仕の理想を追求し実践し続けた結果、枝葉に【社会奉仕】【国際奉仕】【青少年奉仕】「ロータリー財団」が実現している。

ここから私が感じたことは以下の通り。当クラブの例会で毎月行なっている、「四つのテストの唱和」がいかにか大切か。繰り返し唱和し習慣化されることで心に染み込み定着。根っこが整うことで行動が変わる、「奉仕の理想を追求した職業奉仕」が実現できると納得した。



出典：2008年国際協議会 渡辺好政元R | 理事

■職業奉仕と事業の繁栄

奉仕に徹すれば事業は繁栄するだろうか?社会に奉仕することと事業に成功することとは別次元の問題。この別次元の問題を1つの問題に昇華しようとするのが職業奉仕。

経営には経営固有の技術がある。その経営の技術を高める努力をせずに、ただ道徳論や超我の奉仕を振り回しても職業奉仕にならない。

事業を営む者は事業に成功しなければならない。成功に到る道が奉仕の理想に一致することを求めているのがロータリー。

職業奉仕は事業を成功させる過程にある。つまり、職業奉仕は、職種によって段階と難易の差がある。

専門職業人の奉仕はその人自身が主役で関与する過程は単純明快。事業の経営となれば関係する範囲が多岐にわたる。企業における職業奉仕は、利害関係のある全ての人々に対して調和ある奉仕がなされなければ意味がない。

②私の職業における職業奉仕活動

●多くの方を笑顔にしたい

抽象的なイメージや思いを筆文字の形を借りて表現する職業であり、作品を通して多くの方を笑顔にしたい!世の中のお役に立ちたい!という思いで筆文字を描いている。

上記の思いを実現するために、技術向上への努力を重ねる事はもちろん、「思い」「願い」「イメージ」という、目に見えないものを作品に込めることを一番大切にしている。

●文字に魂が宿る?

クライアント様が喜んでいらっしゃる笑顔をイメージしながら、そしてその先のお客様にもクライアント様の思いが届きますように...。願いを込めながら描く事で、その文字に魂が宿ると信じている。

●思いを込める意味

『超我の奉仕』『最もよく奉仕する者、最も多く報いられる』どちらにも共通することは、【相手の立場になって行動する】こと。

私の職業に置き換えると、【作品に思いを込める】【クライアント様の思いに共感する】となる。それが出来れば、クライアント様が笑顔になってくれるはず。

●クライアント様の思いに共感するとは?

- ・このような思いで商品を開発した
- ・こんな方に商品を飲んでほしい
- ・お店のイメージをこのようにしたい

その思いに寄り添い、心から共感することで、クライアント様に成り代わって創作ができる。

●自然のリズム

思いを込めて描くには心身ともに健全な状態が必要と考え、精神や身体を良い状態に保つことを重視している。

書道具は全て自然素材で出来ており私がコントロールできないものであるため、こちらが自然のリズムに合わせて創作することを大切にしている。

具体的には、作品生み出すのに最適なタイミングである新月から満月の2週間に直筆の作品を創作する。

●月のリズムに合わせるきっかけ

東日本大震災での津波のニュース映像を見て、5月の個展で発表する自分自身の作品が全く描けなくなる。毎日涙しかでてこない日々を送り、この職業自体をあきらめそうになったが、ある日を境にインスピレーションが湧きどんどん作品が完成していった。この経験を不思議に感じ暦を調べたところ、その日は新月だったことがわかる。

新月や満月は出産に深く関わることを知り、作品を生み出すのに最適なタイミングがあると実感する。

★こどもへのメッセージ

講演のご依頼をいただいた際は子どもたちに向けて「好きなことにチャレンジし続ければ、必ず輝ける場所に辿り着ける。」ことを伝えている。



★夢と挫折

小さな頃からの夢は幼稚園の先生になること。しかし教育実習で挫折。挫折の理由は以下の通り。①目の前で起こる問題行動にしか集中できない(全体を見渡せず先生同士の連携プレーができない) ②子どもたちの命を預かる重みを実感。先生からの一言「子どもたちのためにも、幼稚園の先生に向いていない人はなってはいけない。」がとどめとなり、卒業時には、就職活動もせず目標もなく生きがいが見つからないお先真っ暗状態。

★生きがいは何

生きがいが見つけないと、自分が好きなことを改めて考えた時、「書道」をもう一度学び直したいと思った。そこで「商業書道」という講座に出会い、習い始めたのがきっかけで大好きな仕事に巡り合った。

★好きなことを見つけよう

小学生の頃好きだった2つのこと、書道と空想を組み合わせると今の仕事が成り立っている。こどもたちが好きなことを一つでも多く見つけ、追求し続けることで、自分の特性を活かし輝ける場所に必ずたどり着けることを伝える。

★短所は長所

幼稚園の先生をあきらめる原因となった、私の特徴であり短所(だと思っていた)「目の前で起こる問題行動にしか集中できない」は、デザイン書道作家としては「作品を作る際に周りが見えなくなるほどの集中力」という形で長所になっている。場面が変われば短所は長所になるのだから、周りの子と比べて自分が出来ないことや得意でないことに悲観することはなく、その特徴が必ず長所となって活かせる場所があることを伝えている。

◆伝統工芸品豊橋筆の継承問題

創作に欠かせない豊橋筆。若手の職人不足や材料不足など、継承には問題が山積。

◆筆の使い手を増やしたい

気軽に取り組めるデザイン書道教室(左手で描く・上下逆さまに描く・目を瞑って描く)を開催し、筆の使い手を1人でも増やすことで、豊橋筆がいつまでも続いていくよう貢献したい。

生徒さんの中からデザイン書道作家が生まれ、その方が個展や教室を開催し魅力を伝える。それにより笑顔になってくれる方が更に増え、豊橋筆の使い手も増える...という好循環を期待している。

●オファーは断らない

ロゴ作成は自ら行動を起こし実現したものだが、個展・カルチャースクール講師・講演・ライブパフォーマンスは、ご依頼があって初めてチャレンジしたもの。それによって仕事の幅が広がり、人様のお役に立てる機会が増えたように思う。

③職業奉仕に関するご質問・フォーラムに向けて

中央製乳様にて職場見学例会を行い、職業によって職業奉仕の内容に違いがあることに気付く。会員の皆様はどのような職業奉仕を実践しているのだろうか?という思いで、職業奉仕に関するご質問「あなたの職業において、職業奉仕として実践していること・実践したいと考えていることは何ですか?」を行なった。ご回答内容から、職業によって職業奉仕の内容に違いがあることが明確にわかる。

ご回答内容をご一読いただいた上で、改めて「皆様の職業における職業奉仕」についてご一考いただく機会としたい。フォーラムでより具体的にご本人の口から語っていただくことで、会員相互の気付きが得られることに期待。他の方の実践内容を知り、自分事として置き換えた時に、新たな角度からの職業奉仕が見つかる可能性もあるかと思う。

★ニコボックス

山本雅久・高井龍雄：鈴木愛職業奉仕委員長 30分の卓話よろしくお願い。
 神谷 馨・中村信祐：山下孝さん入会おめでとう。
 大須賀憲太：山下孝さんを紹介させて頂き。
 廣瀨成一・鈴木紳昭：誕生日をお祝い頂き。
 村松 光：rollerの友読みどころを紹介させて頂き。
 廣瀨成一・村松 光：会員スピーチをさせて頂き。
 鈴木 愛：職業奉仕の卓話をさせて頂き。

石原聖季：能登地震のご寄付をよろしくお願ひ。
 山口幹夫：1/15伊勢神宮外宮内宮に参拝してきました。内宮には多くの参拝者で賑わっていました。やはり日本人の心のよりどころでしょうか。
 鈴木 愛：チケットを頂きフェニックスの試合を見に来ました。勝って嬉しかったです。ありがとうございました。
 鶴殿健次：ニコボックス発表をさせて頂き。
 鶴殿健次ニコボックス委員

★幹事報告

・豊橋 RAC より 1 月第 2 例会、2 月第 1 例会のご案内が届いております。

★他クラブの例会変更

- 1月30日(火) 豊橋北 RC クラブフォーラム
- 宝 飯 RC 豊川 RC との合同節分例会
- 田原パ RC 会場都合 (サイン無)
- 1月31日(水) 豊 川 RC 宝飯 RC との合同節分例会
- 2月2日(金) 蒲 郡 RC 職場訪問例会
- 2月5日(月) 豊橋南 RC 明るい家庭づくり推進大会
- 2月7日(水) 豊 川 RC 海外姉妹クラブ歓迎例会